

「大阪打ち水大作戦」



打ち水について

打ち水は、道路や庭に水をまいて夏の涼を得る、昔からの日本人の知恵であり、身近なヒートアイランド対策です。

一般的に、朝夕の日が高くない時間に打ち水を行うことが推奨されています。これは、夏の気温が高い状態でアスファルトに打ち水しても、水はすぐに蒸発してしまい、気温上昇の抑制効果が得にくいからです。朝夕の比較的気温が低い時間に行うことで、地面の温度上昇を抑制する効果を持続させることができます。

打ち水の注意事項

- 安全のため、交通量の多い場所を避け、できればクルマの通りのない安全な場所を選びましょう。
- 道路が滑りやすくなるため、カーブの途中、交差点、マンホールの上には水をまかないでください。
- 通行人の迷惑にならないように水をまきましよう。
- 熱中症に気を付けて、できれば帽子等を着用しましょう。
- お風呂の残り湯や雨水などの再利用水を使用しましょう。

大阪市の平成28年度の一環をご紹介します。

大阪市では、打ち水の普及を図るため、平成17年度から市民、事業者の方々との協働による「大阪打ち水大作戦」に取り組んでいます。各区役所の取組みの一部をご紹介します。

福島区役所

「第11回福島区打ち水大作戦」の一環として、8月の1の付く日(1、11、21、31日)を「区内一斉打ち水の日」と定め、区内の各所で打ち水を実施しました。8月1日には、福島区未来わがまち会議と連携して、「第11回福島打ち水大作戦」のスタートイベントを開催しました。このイベントは、ヒートアイランド現象の緩和や環境に対する意識の向上と地域での新たなコミュニケーションづくりを目的として実施したものであり、区民をはじめ、多くの企業・団体の皆さまにご参加いただきました。



此花区役所

身近なヒートアイランド対策の一環として、毎年8月を「此花区民打ち水行動日間」として区民と協働で打ち水を実施しています。平成28年度も、区役所庁舎前をはじめ、住宅、店舗の前などで打ち水を行ったほか、地域の盆踊りの開催前にも打ち水を実施しました。打ち水で使用する水は下水の高度処理水や生活排水(米のとぎ汁など)を利用するなど、環境にやさしい取り組みとなっています。



住之江区役所

平成28年度は、住之江区内の14地域に設置されている地域活動協議会の1つ「さざんか清江協議会」と協働し、「打ち水大作戦&水鉄砲大会」を実施しました。前半は、「打ち水大作戦」を実施し、清江地域にお住まいのお子さんやPTAの皆様が集まって、参加者全員でバケツに入った水をひしゃくですくい、砂場、芝生、レンガ、鉄板、グラウンドに打ち水を行いました。後半は、大人も子どもも入り混じっての「水鉄砲大会」が開催され、水鉄砲やホース、バケツで水を掛け合いました。打ち水や水鉄砲の効果で会場の気温は下がり、みんなで楽しく地面に水をまくことの効果を実感した1日でした。



打ち水用品の貸し出しを行っています



大阪市では、打ち水に取り組んでいただける市民及び市内の事業者の皆様へ、打ち水に必要なバケツ、ひしゃく、のぼりなどの用品の貸し出しを行っています。詳しくは環境局環境施策課までお問い合わせください。